

中筋川ダム堰堤改良事業



中筋川ダムからの自然越流の状況

中筋川ダム下流の浸水被害軽減に向けて
中筋川ダムにゲートを設置します！



国道56号浸水状況（山田地区）



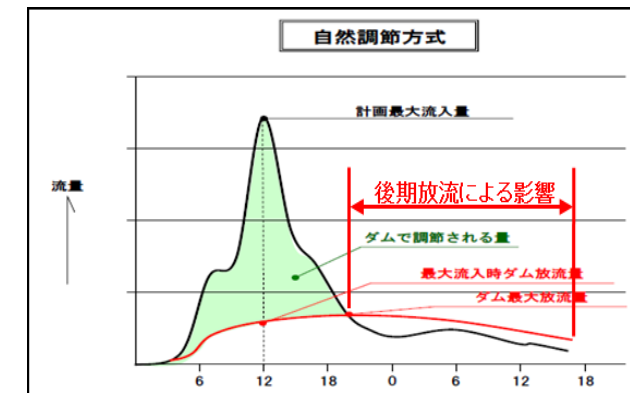
国土交通省 四国地方整備局
渡川ダム統合管理事務所

《中筋川ダム堰堤改良事業の概要》

中筋川ダムが位置する高知県西南部は、台風常襲地域で降水量が多く、ダム完成後の平成11年以降も中筋川の基準地点（磯ノ川地点）で氾濫危険水位を超える洪水が度々発生しています。このうち平成16年台風23号、平成28年台風16号の洪水では、基準地点の水位が中筋川の計画高水位を超過しました。

中筋川は河床勾配が非常に緩やかで、四万十川が洪水により水位が高い時には川の水が流れにくい特徴を持っています。

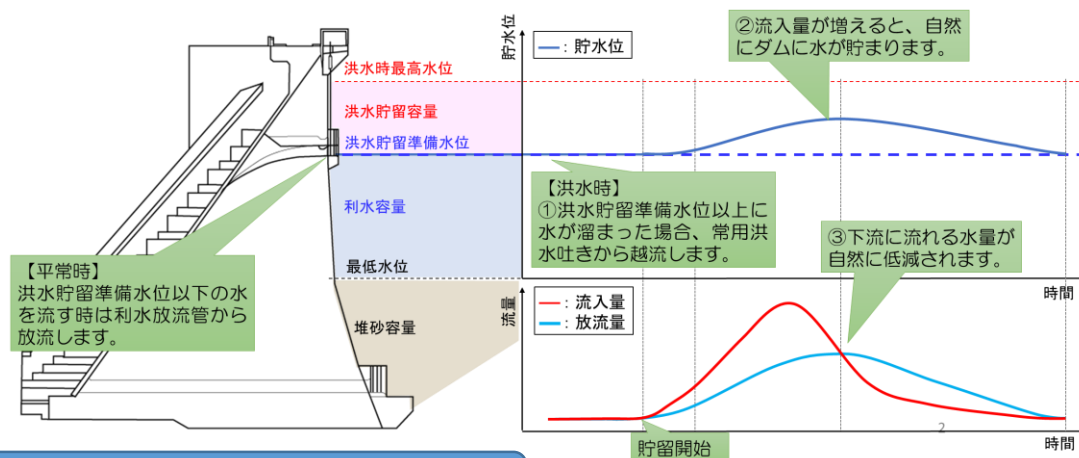
これに加え、自然調節の中筋川ダムが、ダムに貯めた水を洪水後に徐々に流下させるため、河川水位の高い状態が続くことによる内水被害の影響が長期化することに対し、被害軽減を望む声が上がっていました。



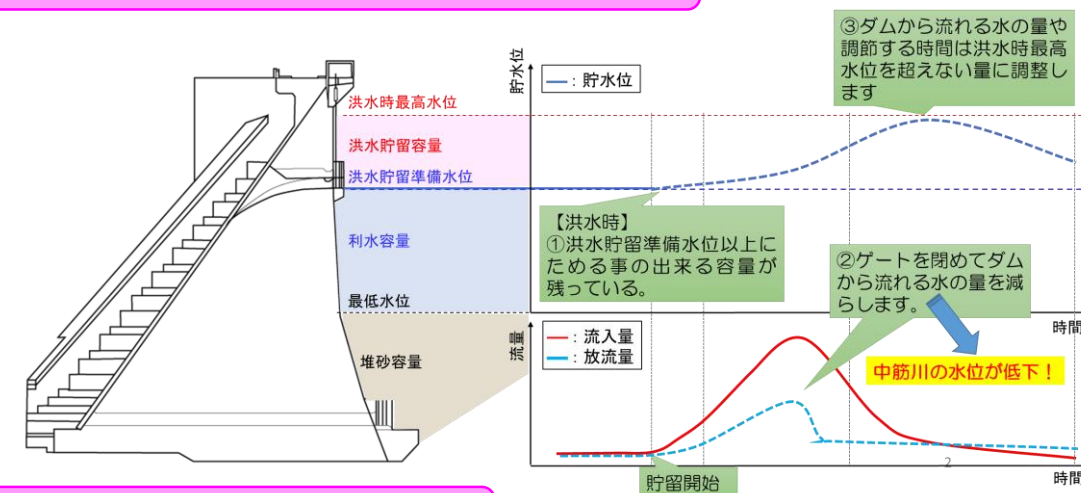
※後期放流による影響とは、ダムに溜まった水を次の洪水に備え洪水貯留準備水位に低下するまで河川水位がダムが無かった場合に比べ高い状態が継続するものです。

中筋川ダムの堰堤改良事業では、これまでゲートの無かった常用洪水吐きに新たに洪水調節が可能なゲートを設置します。ゲートの設置により、ダムから下流で甚大な被害が発生している時又は恐れがあるとき、下流の河川管理者または自治体の要請があり、今後雨が降る恐れがなく、ダムの洪水調節容量にまだ水を貯める余裕がある場合に、四国地方整備局長の承認を受け、ゲートを閉める操作を行うことでダムから流れる水の量を減らし、中筋川の水位を低下させることで浸水被害や、内水被害の継続時間の軽減を図ることが可能になります。

これまでの洪水調節



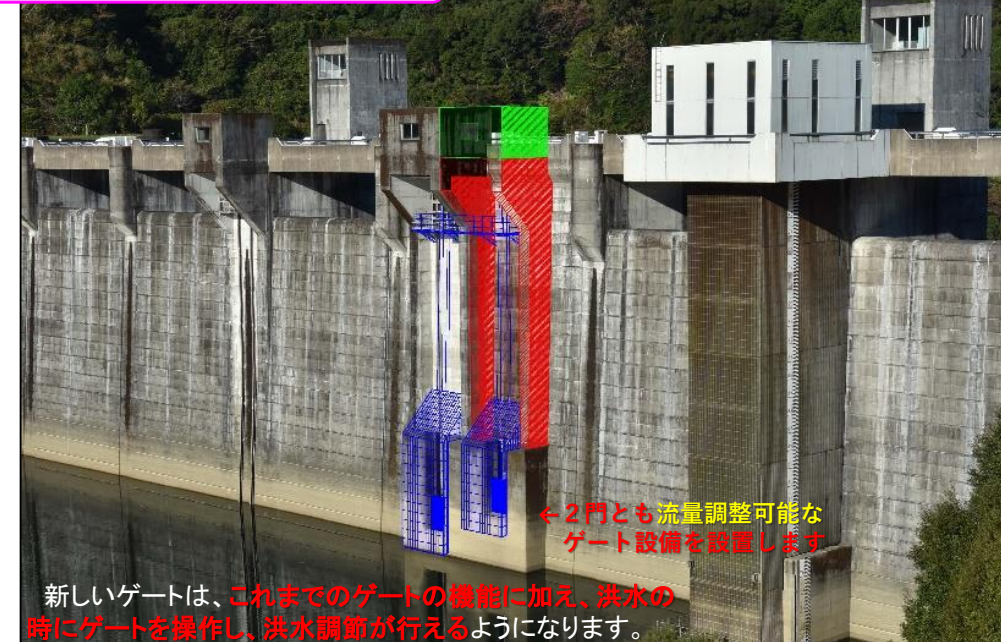
堰堤改良（ゲート設置）後に出来ること



現在の中筋川ダム（上流面）



新しいゲートの完成イメージ



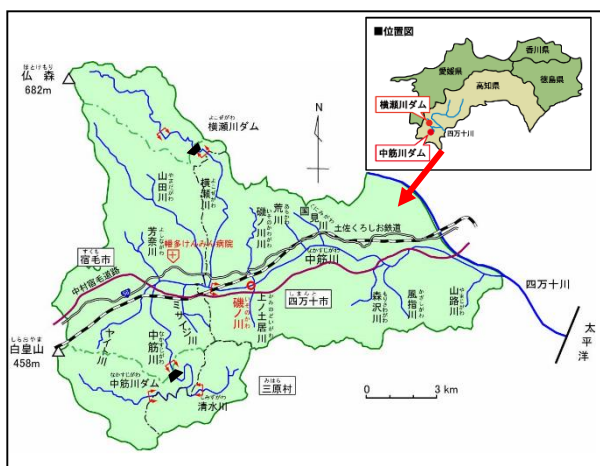
《堰堤改良事業の関連工事》

工事名	工事内容
令和2 - 4年度 中筋川ダムオリフィスゲート設備改良工事	新しくゲートを作る工事
令和3 - 4年度 中筋川ダムオリフィスゲート側壁構築工事	ゲートを設置する土台を作る工事
令和3 - 4年度 中筋川ダム管理用制御処理設備改造工事	ゲートから流下する水の量を制御する設備工事

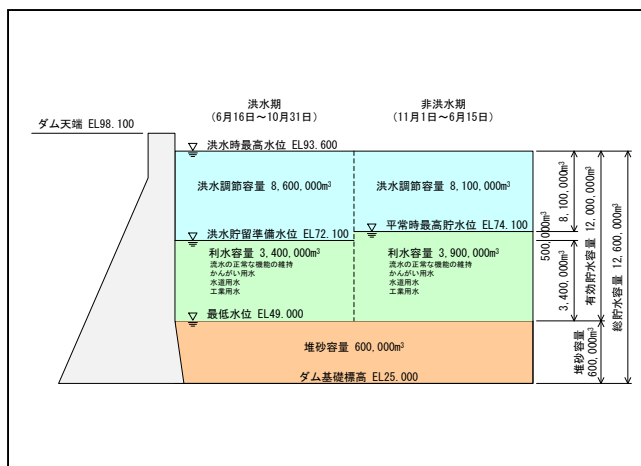
※工事期間中は中筋川ダムの上部は通行できません。
皆様には大変ご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。
【期間：令和4年2月～工事完了まで】

《中筋川ダムについて》

■ 流域図



■ 貯水池容量配分図



■ 諸元

ダムの位置：高知県宿毛市平田町黒川地先

目的：洪水調節、流水の正常な機能の維持、かんがい用水、水道用水、工業用水

ダムの高さ：73.1m ダムの長さ：217.5m

流域面積：21.1km² 湛水面積：0.7km²

総貯水容量：1260万m³ 有効貯水容量：1200万m³

国土交通省四国地方整備局
渡川ダム統管理事務所

〒788-0781
高知県宿毛市平田町黒川字櫛ヶ崎山5312-48
TEL:0880-66-2501
MAIL:skr-f7950@milt.go.jp

渡川ダム統管理事務所
ホームページ
<https://www.skr.mlit.go.jp/watarigawadam/>



国土交通省
川の防災情報リアルタイム
<https://www.river.go.jp/>

